人工芝グラウンド完成

三月三日
当校グラウンドこけら落とし
藤枝東 対 帝京
撮影　安藤　孟（三十七回）

同窓会報
千南原

第23号

平成21年6月1日発行

【編集・発行】
〒426－8577
藤枝市天王町1丁目7－1
静岡県立藤枝東高等学校同窓会

【同　窓　会】
電話／054-645-3527
FAX／054-645-3529
<同窓生数> 23,405名
<在学生数>　971名
<職 員 数>　88名

【印　刷】
〒426－0041
藤枝市高柳1丁目18－23
共立印刷株式会社
電話／054-635-4651㈹

人工芝整備実行委員会活動報告並びに御礼

藤枝東高校運動場
人工芝設備実行委員会会長
（平成20年度PTA会長
学校後援会長）

松浦 富雄
（49回）

同窓会の皆様には、日ごろより本校の教育等の環境整備に対しまして格段のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

そもそも、従前のグラウンドは水はけが悪く、改良工事については、長年の懸案事項でした。そこで、日々の授業や部活動のために、人工芝化を図りたいとの機運が持ち上がり、県との協議の結果、下地工事は県費で、芝工事は学校サイドでとの結論となり、実施に向けて活動を進めさせていただくことになりました。

平成二十年七月に、学校後援会、同窓会、サッカー部後援会、サッカー部OB会の四団体の代表からなる実行委員会を立ち上げ、都合八回の委員会を開催させていただきました。

七月と十月の二段階で、募金活動を実施し、一〇二四件のご寄付を頂戴し、また、事業費の不足分については、各団体に多額のご負担をお願いし、本年三月に工事も竣工し、業者より引渡しを受けたところです。

同窓会からの貴重な資金の提供がなければ、この事業は遂行できませんでした。委員長として、OBとして、ご理解を賜った同窓会役員、そして会員の方々に心より感謝申し上げます。

既に子供たちはグラウンドを使用しておりますが、素晴らしい環境の中で学校生活を送れることを感謝しているはずです。保護者を代表して改めて御礼を申し上げます。

85周年記念同窓生交流会のお知らせ

本年度は、設立85周年の年に当たりますので同窓生全員を対象に開催を致すことになりました。内容も下記の通り充実したものとしましたので、是非にお出かけください。

なお、当日事前に役員による総会（合同役員会）を10時30分から開催いたします。

<85周年記念同窓会開催案内>

開催日： 平成21年7月26日（日）
午前11時15分より（10時45分受付開始）
場　所： 焼津市浜当目海岸通り星が丘
「ホテルアンビア　松風閣」
内　容： 1）総会報告
（20年度決算・21年度予算・事業計画等）
2）パネルディスカッション
仮　題　（郷土の未来を考える）
パネラー：戸本隆雄氏（25回生）
田村典彦氏（36回生）
北村正平氏（38回生）
司　　会：佐野愛子氏（47回生）
3）懇親会
会　費： 7,000円（出席される方は、21年度維持費2,000円＋会費7,000円を別添振込用紙にて事前にお振込みください。振込みを以って「出席」とさせていただきます。）

同窓会出席のお振込みは、7月10日までにお願い致します。

【交通のご案内】
◆**役員会からご参加の方**／9:30と10:00の焼津駅南口発定時バスをご利用下さい。
◆**総会からご参加の方**／10:00～11:00の間、バスが焼津駅南口とホテル間を随時運行します。乗車場所にバスがいなくても、4～5分お待ち下さい。
◆**懇親会終了後**／15:30～16:00の間は、バスが焼津駅へ随時運行いたします。
16:00以降は定時のバスをご利用下さい。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。
（電話：054-645-3527）

二つの像に迎えられ

校長
河西 哲郎

満開の桜に迎えられ、四月一日藤枝東高校に着任いたしました。その日、強く印象に残ったのは二つの像でした。

正面左手の「蹴上王者」の像と中庭に立つ「誠」の像です。槇や躑躅の木々に囲まれて立つ「蹴上王者」の像は、蹴り上げた右足の上にサッカーボールを乗せ、風を切り動き出しそうな様子です。王者の風格も漂い、さすがサッカー伝統校の象徴に相応しいものと感ぜずにはいられませんでした。昨年正月の全国サッカー選手権大会での全国準優勝、今年の三回戦進出と、藤色旋風を巻き起こしたことは、私の脳裏にも焼きついています。その藤枝東高校に校長として赴任できたことを、まず誇りに思います。

そしてさらに今春、人工芝に生まれ変わったグラウンドを目の当たりにして、興奮を覚えました。陽に輝く緑の鮮やかなグラウンドで東高生がプレーをするのです。聞く所によりますと、同窓会をはじめ、PTA・サッカー部後援会・OB会等、多くの方々の支援を得て完成したとのこと、東高の組織の力・連携の力が感じられました。

さて、二つ目は玄関を抜けた右手の中庭に立つ「誠」の像です。花穂を伸ばし始めた松の枝に囲まれ、青年が立っています。後ろに周ると校歌の一節が書かれ、「本校創立六十周年を記念し、建学の精神『至誠一貫』の象徴として同窓会並びに後援会の賛同を得て、ここに誠の像・歌碑を建立する」と書かれています。日展会員の堤達男氏の制作で昭和五十九年除幕とあります。私の初任校である下田北高校にも堤氏制作の像があったことを思い出しました。

本校の校訓でもある「至誠一貫」…真心をもって何事にも立ち向かう…素晴らしい言葉です。調べてみますと、吉田松陰が門下生に向けて言った「留魂録」にも記載されているといいます。また中国の孟子の「至誠にして動かざる者は未だ之有らざるなり」という言葉もあり、それを踏まえての校訓だということです。誠実を貫いて行動すれば人の心を動かさないことはない。…この精神を第一の指針として、学校経営に全力を傾けねばという気持ちを強くした「誠」の像との出逢いでありました。

人工芝グランド整備支援に感謝

静岡県立藤枝東高等学校同窓会長
槇田　堯
（34回）

本校は大正十三年千南原に志太中学校として創立されました。今年は八十五年の節目となりますので、総会開催を同窓生全員に呼びかけ、思い出に残るような交流会としたいと本部役員会で決定しました。このご案内のために今回の会報を早めに発行し送付しましたので、ご覧の上多くの方々の参加を期待しております。

さて二十年度事業でありますが、当初計画に予定されていない「藤枝東高校運動場人工芝整備支援」の件につきましては、皆様のご理解とご協力を頂き、無事立派な施設を完成することができました。心より感謝申し上げます。

昨年総会時には、この事業は計画も予算も明確ではなく、同窓会としては具体的に実行するなら「八十五周年記念事業」として取り上げたらどうかと考えておりました。しかし県への手続き上、二十年度に完成させざるを得ないということになりました。急遽実行委員会を学校後援会、サッカー部後援会、OB会と立ち上げ、同窓会も強い要請を受け副委員長として参画することといたしました。しかし募金活動は思うに任せず、大幅に不足して最終的にはご案内の通り三月二十二日役員合同会議（臨時総会）を開催し承認を得た通り、同窓会会計より八百万円支援することとなりました。進め方に多くの反省や意見が出ましたが、芝グラウンドを有効に使用してもらいたいと願っております。

また二十年度サッカー全国選手権大会出場に際しての募金活動についても二年連続でご支援を頂き、有り難く思っております。私はこの数年間の間に四回全国選手権大会出場支援実行委員長を務めて参りましたが、募金活動は年々難しくなり負担も増し同窓会から数多くの意見も出されております。本校創立以来の校技であるサッカーで、今後とも常勝軍団として全国制覇を目指すなら「関係五団体がコミュニケーションをとれる様にしっかりとした一本化協力体制を形成し、方法についても抜本的に見直す時期にきている」と思っております。

さらに二十年度は大所帯であります藤枝支部が設立されて、ほぼ全支部組織体制が形成されました。今後各支部、回別において役員を中心に親睦の輪を広げて頂きたいと願っております。本部においては、次なる九十周年に向けて活動を展開して参りたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。